

ある自主避難所で聞いた話

仙台から仙石線で程の駅（これから書く話が特定されないため駅名は伏せます）。駅から徒歩10分ほどのT市民センター「避難所」へ。しかし行ってみたら、もう避難所は数日前に閉鎖されていた。残念なので、案内を乞い、避難所だった場所（空間）を覗かせて貰うことにした。名刺を出して案内を乞うと、女性の職員が「館長にお会いになりますか」と言うので「是非、お会いしてお話をお聞きしたい」とお願いした。「ただいま来客ですので、しばらくお待ちください。避難所だったときの掲示物などはまだそのままですから、ご覧になってください。」と言われて、見学した。兵庫県からと、静岡県からの寄せ書きが目立つ。ほかに、避難者あての案内・指示などの掲示もあって生々しい。軒下には洗濯機が3台。

しばらくして、館長のAさんが来てくれて、鎌田さんと私が避難所を運営された体験をお聞きした、と言うより、館長さんの方から積極的に話して下さった。

(A館長の話) 3月11日、あの大地震のとき、このセンターには約70人の市民（利用者）が居たが、ひどい揺れに皆さん、慌てた。私が皆さんに落ち着くように言って、玄関前に停車していた車のラジオのボリュームを上げて、大津波警報が出たことを知った。すぐ隣にある老人施設と保育園が大変だということで、市民センター職員が手伝って、老人と幼児をそれぞれ2階に運んだ。もうエレベーターは止まっていたから、人力で運び上げた。

そのうちに、近所の住民もセンターに避難してきた。もう（津波の）海水が玄関床に来たから、後のことを考えて（屋上に避難することになるだろうから）、土足のまま館内に入ってもらった。区役所に電話して、住民が多数避難してきたから毛布を分けてくれと言ったら、「そこは避難所に指定していないから、物資はやらない。」と断られた。そうしている間にも避難者は増えるし、津波に巻き込まれてずぶ濡れ・油まみれの男女が助けを求めてきた。寒くて震えている。職員が男女に手分けして、油汚れを洗ってやっている間に、また区役所に電話で事情を話して毛布を要求したが、また、断られた。さらに3度目の電話をしたら、区の職員は「何度言ってもダメですよ。指定された避難所に移動するように伝えなさい。」と言われた。

既に多数の避難者が来ていて、水も増えていて、「移動」するような状況ではない。私は腹が立って「もう役所には頼まない！自分でやる。」と言って、それからは一切、役所には頼らないことにした。自分の知っている限りのツテを使って、毛布も食料も集めて、全員の食事を出した。多いときは1200人以上になったから、食料集めも大変だった。いろんな会社に頼みに行って・・・頼むとき「コツ」があるんですよ。たくさん頼んではダメなんです。「20食か30食でも、お願いします。」と少し頼みます。すると相手の方から「何人居るんですか？」と聞いてくれる・・・とにかく、（避難者を）引き受けた以上は絶対に守る覚悟で頑張りました。

正式の指定された避難所で断られた人も来ました。外国人は他所で断られて、ここに来ました。あるパキスタン人は赤ん坊を抱いて、（指定の）避難所で「ミルクありますか、お湯ありますか」と言ったら断られたと言ってここに来た。ここでも玄関で「ミルクありますか？」って言うから「ミルクはありませんが、なんとか探してあげるから、とにかく入りなさい。」と入れました。すぐ近所の保育園でミルクを貰ってあげました。後に、その人から報告があったと、パキスタンの大使がお礼に来て、感謝状をもらいました。

こういう避難所ではリーダーシップが大切です。規則をきちんと作って、それを守れない人には、厳しいようですが退所してもらいました。実際に2名、出てもらいました。（その規則違反の内容は話さ

れなかったが、あとで調べたら禁止されているた喫煙の繰り返しだったようだ。)

ある時、ボランティアの団体が、ダンボールのパーティションを提供すると申し出てくれましたが、断りました。避難所はプライバシーよりも生命を守ることが重要です。誰もが見えるようになっていると、急病人がいればすぐ発見できる。だから、間仕切りはないほうがいいのです。着替えなどの場所は用意しておけば大丈夫です。

・・・(お話を聞いているうちに知りたくなって、私が「館長は、元はどういうお仕事でしたか？」と質問した。)最初は石油元売り会社に勤めていました。次に、消防士になって、定年退職後、現在の職(指定管理者企業の職員)につきました。区民センターの管理は、役所から指定されてやっているの、次に仕事を貰えないと困るから役所にあまり強くは言えません。この避難所のいきさつを、あるテレビが取り上げると言ってくれたのですが、テレビは影響が大きいため(指定管理者の仕事をとれなくなるといけないから)辞退しました。

なるほど、「避難所」はこういう人たちにも支えられていたのか。「指定避難所ではないから物資は一切分けられない。」というのもありそうな話だが、実際に避難者が集まっているのに断るという「役所仕事」はもう卒業して欲しいものだ。



ある応急仮設住宅の見学記です。

これは名前を伏せる必要はないので団地名は実名です。問題点は、ここに限ったことでなく、あちこ

ちで聞くことです。

<仙台市内の仮設住宅>

仙台市「あすと長町」の応急仮設住宅。なぜ仮設住宅はこういう風に作るのだろうか。まるで鶏小屋のように、ぎっしり並べてある。ここは大手住宅企業が担当したようだが、住宅企業は一阪神淡路大震災からでも16年も経つのに一住みよい住宅地の作り方を研究したことはないのだろうか。

中央に広場のような空気を少し残しているから、ここに集会所を建てる予定だったのだろうか。実際には、なぜかこの端っこのほう（南西隅）に「ふれあいサロン」という部屋がある。

60歳前後の女性が、たまたま外に居られたのでいくつか質問して、お話を聞いた。（予約なしだったので、直接住宅を訪問してはご迷惑だと思って、やや躊躇していたところ、この人が話に応じてくれた。）この奥さんはマンションに住んでいたが地震でやられた。判定は「半壊」。87歳のお祖父さんは施設へ。自分はこの仮説に入居した。

（住み心地）風通しが悪い。北側には、玄関（出入口）以外に窓がない。玄関を開けないと風が通らないが、玄関には網戸がついていない。それに、雨の日は玄関を開けておくわけにはいかない。玄関にも（窓にも）庇はついていない。クーラーは1個付いているが、部屋が2つで、壁で仕切られているから、片方の部屋はクーラーが効かない。

そんなわけで住み心地には問題があるが、それにしても空家が多い。約半数が空家である。今後入居する予定というわけではなく、もう希望者がいないということだ。立地条件は決して悪くはない。すぐ近くにJR長町駅（仙台駅から1駅）もあり、地下鉄の駅もあり、商店や区役所も近い。これだけの立地条件の場所なのに入居希望者が少ないのはなぜか。その奥さんも言っていたが、「仮設住宅に入居したら食費や光熱水道費がかかるが収入がないから支出できない、だから住環境はひどいが避難所を出ない人が多い。」らしい。この問題は深刻だ。

また、民間賃貸アパートに入居した人は家賃が補助されるから仮設住宅を希望しないということもあるらしい。（それは「仮設住宅より民間賃貸の方が良い」という評価がくださったということではないか。）

<補足>以上述べたのと同様の仮設住宅が多いが、たとえば遠野市の仮設住宅のように全然違うのもある。

遠野市の仮設住宅

この応急仮設住宅は木造です。間取りは普通のもので（3間x3間、2DK）が、木造なので雰囲気は違います。何ととっても、中央の広場に「サポートセンター」という核ができること、二棟の玄関を向かい合わせにして、その間をウッドデッキにして、そのデッキを歩くと中央の「サポートセンター」に行けるようになってきていることなど。少しの工夫で、これほど違うのかと驚きます。

<設計>

東京大学・高齢社会総合研究機構

岩手県立大学 社会福祉学部

<工事>

リンデンバウム遠野

（1棟ごとに別の工務店が工事を担当した。）



民間の障害者向け仮設住宅

仮設住宅は大部分が公営だが、民間が独自に作ったものもあり、特色がある。＜台湾の大地震の救援に行ったとき、台湾では大部分の仮設住宅がが民営（宗教法人など）で、運営がそれぞれ独自だったことに驚いた。＞

その一つ、石巻の障害者向け仮設住宅「ケア付き仮設住宅・小国の郷」。丸山さんがネットから情報を得ていて、宮城支部の佐々木さんが車で探してくれた。石巻祥心会（社会福祉法人）が日本財団の支援を受けて設置した。家族向け40戸、単身者グループホーム14人分。家族向けは、障害者のいる世帯が応募できるという形で公募し、定員一杯になって発足した（6月末）。



コンテナを使ったもの。



5人のスタッフが24時間常駐。家賃は無料、光熱費実費。

石巻市相川の仮設住宅

仮設住宅の話題をもう一つ。

仮設住宅の「まち」としてのデザインに、集会所は重要な役割を持つと思う。仙台・長町の仮設住宅団地の集会所が、中央広場でなく、隅っこにあるのを報告したが、石巻市相川運動公園の仮設住宅でちょっと残念な状況を見た。集会所の建物は、東海大学の工学部学生らが、間伐材を使って、とても可愛いものを寄付してくれた。住民はもちろん、仮設住宅群の中央に欲しかったのだが、「許可」されず、住宅群の敷地から少しだけ離れた場所に作られてしまった。住民の一人も「向こう（住宅群の場所）にあればもっと気軽に使えるのに」と言っていた。しかし、木造の良さは十分に感じられる集会所ではあった。写真には、佐々木さん、丸山さん、鎌田さんが写っている。

